

ぼうさいこくたい

2025 in 新潟



語り合い 林 支え合い

～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～

# 大会総括とふりかえり

新潟大学 危機管理センター

田村 圭子

# 本日の内容

- 新潟大学の出展報告
- 大会総括（クロージングセッション時のもの）  
（ぼうさいこくたいを踏まえ、新潟県の今後の防災施策への示唆があれば）

# ぼうさいこくたい2025 in にいがた 第1回現地情報共有・連携会議 開催のお知らせ

この会議は、「ぼうさいこくたい2025inにいがた」へ多くの皆様にご参加いただくため、大会に関する情報共有や、参加団体が連携・交流するため、新潟県防災局が主催する会議です。ぜひ、お気軽に御参加ください！

## 出展の メリット



- ✓ 地域の防災の取組の発信
- ✓ 自治体の防災対策の取組発信
- ✓ 防災に関する研究成果の発信
- ✓ 被災地への支援（ボランティアなど）の発信
- ✓ 復興・復旧の取組の発信
- ✓ 企業等の防災に関するCSR活動の発信
- ✓ 防災の仲間づくり

出展  
無料

講演者への謝金や会場までの旅費・資材運搬料は、出展者の負担となります。

## 参加対象

防災に関連する活動等を行っていて、

**「ぼうさいこくたい2025inにいがた」**

**ご興味がある団体**

(公益法人、学校、大学、行政機関、企業、NPO、各種サークル、自主防災組織など)

「ぼうさいこくたい」って、  
どんなもの？  
疑問にお答えします！



## 開催日時

令和7年3月12日（水）18時30分から20時まで

## 開催場所等

- 会場：新潟県庁 西回廊2階 大会議室（定員100名）
- オンライン参加（Zoom）も可能です。  
(別途参加申込者へ会議ID等をメールします)



## 内容（予定）

- 防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）の概要（内閣府防災）
- 前回開催地の状況（熊本県）
- 過去参加団体等からのメッセージ（調整中）
- にいがた大会の進め方について（新潟県）
- 併催イベントについて（新潟県）

# ぼうさいこくたい2025 in にいがた 第2回現地情報共有・連携会議 開催のお知らせ

この会議は、「ぼうさいこくたい2025inにいがた」へ多くの皆様にご参加いただくため、大会に関する情報共有や、参加団体が連携・交流を図る新潟県防災局が主催する会議です。お気軽に御参加ください！

## 出展の メリット

- ✓ 地域の防災の取組の発信
- ✓ 自治体の防災対策の取組発信
- ✓ 防災に関する研究成果の発信
- ✓ 被災地への支援（ボランティアなど）の発信
- ✓ 復興・復旧の取組の発信
- ✓ 企業等の防災に関するCSR活動の発信
- ✓ 防災の仲間づくり

出展  
無料

講演者への謝金や会場までの旅費・資材運搬料は、出展者の負担となります。



## 参加対象

防災に関連する活動等を行っている、「ぼうさいこくたい2025inにいがた」への出展を検討している団体

(公益法人、学校、大学、行政機関、企業、NPO、各種サークル、自主防災組織など)

出展公募締切に向けてどのような出展するか、情報交換しましょう！



## 開催日時

令和7年4月15日（火）18時30分から20時まで

## 開催場所等

- 会場：新潟県庁 西回廊2階 大会議室（定員80名）
- オンライン参加も可能です。  
(別途参加申込者へ会議ID等をメールします)

## 内容（予定）

- 防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）の出展公募について（内閣府防災）
- 県内団体等の出展検討状況（調整中）
- グループに分かれて情報交換
- 新潟県からのお知らせ（併催イベントなど）



# 第3回現地情報共有・連携会議 開催のお知らせ

この会議は、「ぼうさいこくたい2025inにいがた」に関する情報共有や、参加団体が連携・交流を図るため、新潟県防災局が主催する会議です。お気軽に御参加ください！

## 参加 メリット



- ✓ 出展内容の情報共有、ブラッシュアップ、疑問解消
- ✓ 防災の仲間づくり

出展内容やについて  
情報交換しましょう！



## 参加対象

- 「ぼうさいこくたい2025inにいがた」出展決定団体
- 会議への参加を希望する防災関係団体

## 開催日時

令和7年8月6日（水）18時30分から20時まで

## 開催場所等

- 会場：新潟県庁 西回廊2階 大会議室（定員80名）
- オンライン参加も可能です。  
(別途参加申込者へ会議ID等をメールします)



## 内容（予定）

- 防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）当日に向けて（内閣府防災）
- 昨年の状況、出展に向けてのアドバイス（調整中）
- 県内団体等の出展内容情報共有（調整中）
- 新潟大会に期待すること（調整中）
- 新潟県からのお知らせ

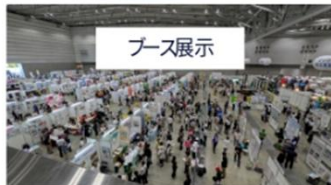
# 第4回現地情報共有・連携会議 開催のお知らせ

この会議は、「ぼうさいこけい2025inにいがた」に関する情報共有や、参加団体の連携・交流を促進するため新潟県防災局が主催するものです。お気軽に御参加ください！

## 会議の 目的



ぼうさいこけい2025は、県内外から約470の出展、約19,000人の来場があり盛況のうちに終了しました。あらためて、出展報告等をいただき大会を振り返るとともに、ぼうさいこけいを踏まえた新潟県の今後の取組や、次の鳥取大会について情報共有します。



ブース展示



パネル展示

新潟大会の様子



セッション



併催イベント

## 参加対象

- 「ぼうさいこけい2025in新潟」出展団体
- 会議への参加を希望する防災関係団体

## 開催日時

令和7年12月11日（木）18時30分から20時まで

## 開催場所等

- 会場：新潟県庁 西回廊2階 大会議室（定員80名）
- オンライン参加可能です。（別途参加申込者へ会議ID等をメールします）

## 内容（予定）

- ぼうさいこけい2025in新潟 開催実績について（内閣府防災）
- 新潟県からの報告等（新潟県防災企画課、産業政策課）
- 県内団体等の出展結果報告（長岡技術科学大学、中越防災安全推進機構、日本防災士会 新潟県支部）
- 新潟大会の総括等（新潟大学 田村先生）
- 2026鳥取大会について（鳥取県）
- 新潟大会の感想と鳥取大会への期待（兵庫県立大学 澤田先生（TEAM防災ジャパン））

# 現地情報共有・連絡会議

- 第1回 342（現地72、オンライン270）  
→ぼうさいこくたいの周知が目的
- 第2回 237（現地62、オンライン175）  
→出展申込促進、連携醸成が目的
- 第3回 174（現地39、オンライン135）  
→出展内容事前共有が目的

平均して約200人が毎回出席

# 参加までの道のり

- 出展者説明会

- 応募 主催・形式・概要→採用確定
- ロジ 担当事業者からの説明
- 会場 設備・動線に係る確認
- Webでの段階的情報共有・公開

- 現地見学会 7/14

【A班】 国際会議室

【B班】 スノーホールA/B・中会議室（201A/B）

【C班】 エスプラナード・アトリウム

【D班】 展示控室（1/2/3/4 A/6）・展示ホールA

【E班】 サービスヤード・トラックヤード・展示ホールA

新潟ぼうさいこくたいプレイベント  
「中越地震・能登半島地震等と災害への備え」

概要	<p>防災推進国民大会（通称 ぼうさいこくたい）は、内閣府等が主催し、産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベントです。2016年から開催しており、2025年（第10回大会・ぼうさいこくたい2025）は、9月6日（土）及び7日（日）に新潟県新潟市で開催します。新潟県は、2004年中越地震等を経験しており、その経験や教訓を次世代に伝え、将来の災害に備える大会となる予定です。</p> <p>このたび、このぼうさいこくたい2025の「プレイベント」を長岡市で7月13日（日）に開催することになりました。内閣府、新潟県、長岡市及び地区防災計画学会が連携して開催するハイブリット型のイベントになりますので、ぜひ御参加ください。</p>
主催	内閣府
共催(調整中)	新潟県・地区防災計画学会・情報通信学会災害情報法研究会
協力	長岡市
日時	<p>2025年7月13日（日）13：30～16：30（予定）</p> <p>13：30～13：40 内閣府・新潟県・長岡市挨拶          13：40～13：50 内閣府説明          13：50～14：50 登壇者報告（10分×6）          14：50～15：00 休憩          15：00～16：20 パネルディカッション（全登壇者）          16：20～16：25 質疑（事前登録質問に対する回答）          16：25～16：30 内閣府閉会挨拶</p>
場所	<p>ミライエ長岡ミライエステップ（4階100席）（新幹線JR長岡駅から徒歩5分）</p> <p>※オンライン同時中継のハイブリット方式</p>

# 特別エクスカーシオン 防災関連施設（地震・水害）見学バスツアー

主催：内閣府・中越防災安全推進機構 協力：Love River Net

## 新潟の防災関連施設見学バスツアー

プラン1:  中越メモリアル回廊を巡る  
The CHU-ETSU Earthquake Memorial Corridor

### 中越地震復興コース

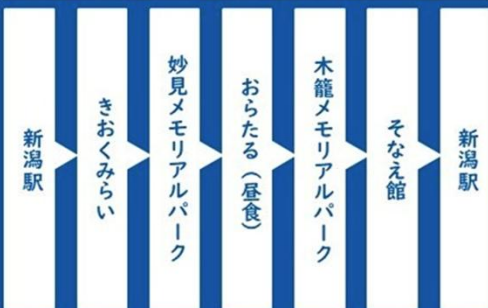
9/5 金  
開催

2004年10月23日17時56分、新潟県中越地方を震源とする新潟県中越大地震が発生。あれから20年。あのかの記憶と記録を伝えるために整備された「中越メモリアル回廊」

ぼうさいこくたい2025の参加者のために、中越メモリアル回廊を巡る特別なバスツアーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。



予定コース「新潟駅発着」8:30-17:00



参加費おひとり **2,000円**  
(資料代・昼食代)  
定員・先着 **35名**  
お申込みはQRコードから！

締切：8月25日（月）

<https://sites.google.com/view/bousaikokuta2025-excursion/>  
↑くわしくはツアー専用Webサイトもご覧ください！  
問合せ：0258-39-5525（中越防災安全推進機構）  
メール：kiokumirai@cosss.jp



主催：内閣府・中越防災安全推進機構 協力：Love River Net

## 新潟の防災関連施設見学バスツアー

プラン2: 新潟県中越地域の治水の歴史と記憶を巡る

### 水害治水コース

9/5 金  
開催

米どころ新潟に代表される越後平野の歴史は大河信濃川に代表される河川の洪水と治水の物語でした。

ぼうさいこくたい2025の参加者のために、水害の歴史を現代に伝える各施設を巡る特別なバスツアーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。



予定コース「新潟駅発着」8:30-17:00



参加費おひとり **2,000円**  
(資料代・昼食代)  
定員・先着 **35名**  
お申込みはQRコードから！

締切：8月25日（月）

<https://sites.google.com/view/bousaikokuta2025-excursion/>  
↑くわしくはツアー専用Webサイトもご覧ください！  
問合せ：0258-39-5525（中越防災安全推進機構）  
メール：kiokumirai@cosss.jp



過疎は進むものの活力ある暮らしぶりを確認

大規模な土木事業がもたらす新潟の恵みを実感

# プログラム

防災についての多様な内容のプログラムに会場とオンラインでご参加いただけます



防災について学ぼう!  
**セッション**

防災について体験できる!  
**ワークショップ**

防災について知ろう!  
**ブース展示**

防災について見る!  
**屋外展示**

防災について発見しよう!  
**パネル展示**

上記以外の  
**出展団体  
オリジナル企画**

各プログラムにて  
お子様にも楽しんでいただける  
企画も用意しています。

+

にいがた防災産業展

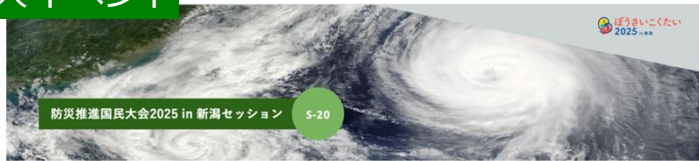


# 当日の様子



右下のTEAMS防災ジャパン以外の写真は新大関係者が撮影

TEAMS防災ジャパン



## にいがたの産官学民プロジェクトが考える ～防災気象情報を防災・減災の活動に どう活かすか～

2025年9月6日(土) 14:30～16:00  
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター  
2階 スノーホールB

【主催】新潟大学危機管理本部危機管理センター  
【共催】新潟地方気象台

S-20 セッション

## にいがたの産官学民プロジェクトが考える～防災気象情報を 防災・減災の活動にどう活かすか～

主催団体:【主催】新潟大学危機管理本部危機管理センター【共催】新潟地方気象台  
協力団体:新潟大学災害・復興科学研究所、新潟大学地域連携フードサイエンスセンター、日本災害食学会、健康ビジネス協議会、新潟県栄養士会、新潟大学医学部災害医療教育センター、新潟大学未来社会共創ラボ 災害医療Palette

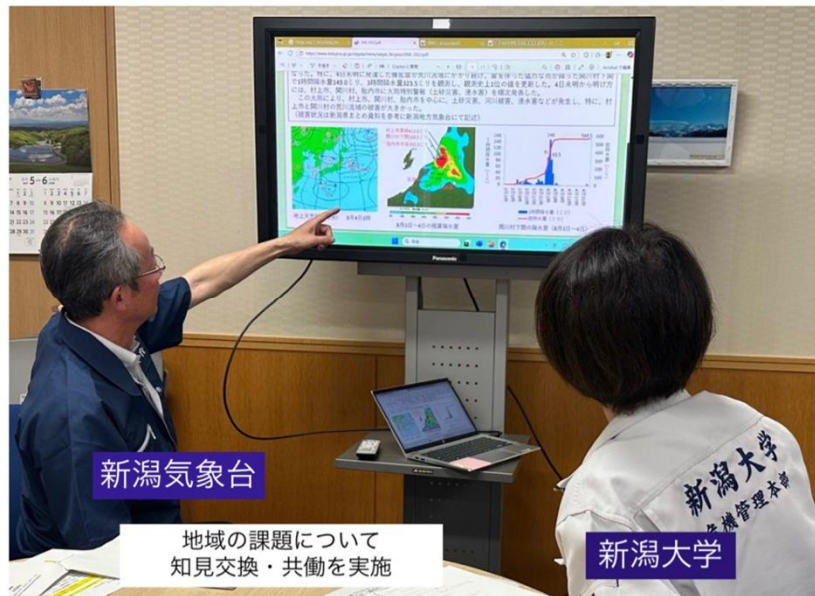
9/6(土) 14:30～16:00 2F スノーホールB MAP▶

自治体向け 一般向け 災害情報 地域防災・コミュニティ防災

「にいがた防災」産官学民プロジェクトについて、理工学、農、医療分野の新潟大研究者が、連携団体との関わり・事例を含め、わかりやすく紹介。次いで気象台が「令和8年出水期から変わる防災気象情報」を話題提供。最後には、本情報をいかに地域防災に活かすことができるか、産官学民プロジェクトの異なる視点から議論する。にいがたの防災・減災の活動の共有・発信を通して、全国の活動団体からの反応や交流を期待しています。

### 防災への取組紹介

新潟大は地方総合大学として「産官民組織との連携活動」を実施。防災については、学術の立場から、災害や対応の現場で得たデータを活かし、理工学・人文・社会科学の知見を発信。また、特に「医療」「食や農」の面で、様々な被災地で活動を展開。新潟地方気象台は「気象を防災・減災に活かす」助言・アウトリーチ活動を実施。両組織は訓練や講演・イベント、地域防災力向上ならびに災害対応支援活動で平時から連携を深めている。



新潟気象台

地域の課題について  
知見交換・共働を実施

新潟大学  
危機管理本部

アーカイブ動画



<https://bosai-kokutai.jp/2025/S-20/>

# 新大イベント



## 産官学民連携活の報告



### 新潟大学災害・復興科学研究所の沿革



連携：一般社団法人健康ビジネス協議会

### 日本災害食 おもいやり災害食認証制度



### 〇備え方のモデルの提示 一般社団法人健康ビジネス協議会

令和3年度 経済産業省補助金「地域産業デジタル化支援事業」  
**「災害時の食の備えに関するガイドライン（新潟モデル）」**  
**【市町村活用資料編】**

災害時の食の備えに関するガイドライン  
 （新潟モデル）

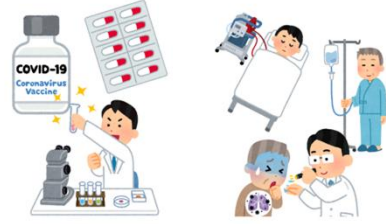
市町村活用資料編

<https://kenbikyoku.jp/10980/>



## 社会的要因

### 新型コロナウイルス感染症



社会医学

基礎医学

臨床医学

### 発災当日の搬送患者数

	搬送患者数	院内医師数	医師一人当たりの患者数
神戸大学病院	366	112	3.3
近隣の某病院	1033	7	147.6

**避けられた災害死**  
**Preventable disaster death**

新しい防災気象情報（R8出水期から運用開始予定）  新潟地方気象台  
Niigata Local Meteorological Office

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、「**気象防災速報**」と「**気象解説情報**」の大きく2つのカテゴリーに分類して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

**気象防災速報** …… 極端な現象を速報的に伝える情報

現状

- 記録的短時間大雨情報
- 顕著な大雨に関する気象情報
- 線状降水帯 2～3時間前予測 (R8運用開始予定)
- 顕著な大雪に関する気象情報
- 竜巻注意情報

今後（令和8年度出水期～）

- 気象防災速報（記録的短時間大雨）
- 気象防災速報（線状降水帯発生）
- 気象防災速報（線状降水帯直前予測）
- 気象防災速報（短時間大雪）
- 気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）

**気象解説情報** …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報

現状

- 線状降水帯半日前予測
- 全般台風情報
- 全般/地方/府県気象情報

今後（令和8年度出水期～）

- 気象解説情報（線状降水帯半日前予測）
- 気象解説情報（台風第〇号）
- 気象解説情報（※）

※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す。

( )内のキーワードは現時点での想定 9



話題提供

にいがたの産官学民プロジェクトが考える  
～防災気象情報を防災・減災の活動にどう活かすか～

新潟地方気象台長  
菅野 能明

【主催】新潟大学危機管理本部危機管理センター  
【共催】新潟地方気象台



総合討論



- 新大の活動や防災気象情報の利活用について活発な意見交換
- 新大は、新潟地方気象台とも引き続き連携を深めながら、産官学民の連携の、地域の防災力向上に向けた取組を継続することを確認

9月6日④ 9月7日⑤

このマークのあるプログラムはオンライン配信します。詳細は各プログラムページをご確認ください。

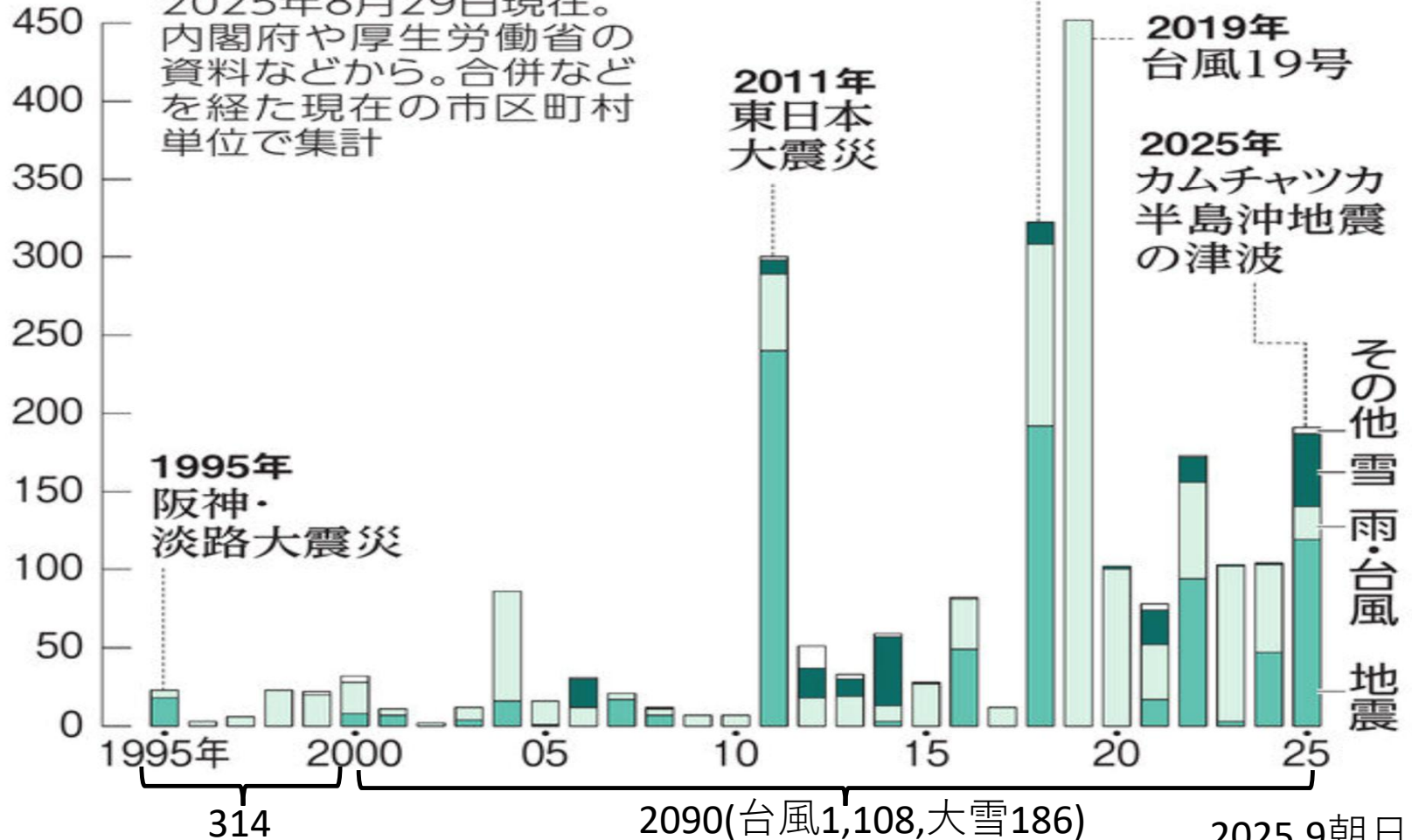
ライブ配信を行わないプログラムを含め、すべてのセッションの様子は後日ホームページにてアーカイブでご覧いただけます。

Table with columns for venue (会場) and time slots (9:00~10:00, 10:30~12:00, 12:30~14:00, 14:30~16:00, 16:30~18:00, 18:15~19:30). Rows include sessions S-01 to S-49 with titles and organizers.

# 災害救助法が適用された 延べ市区町村数の推移

2025年8月29日現在。  
内閣府や厚生労働省の  
資料などから。合併など  
を経た現在の市区町村  
単位で集計

2018年  
西日本豪雨、  
北海道胆振東部地震



全国で回数適用回数増えている (全国の2/3にあたる市区町村で適用)

複数適用も増えている (2回以上適用された市区町村が3割)

市区町村別で最も適用回数が多かったのは・・・

- ・新潟県上越市・長岡市で、それぞれ9回 (大雪や大雨、R6能登半島地震等)
- ・宮城県松島町・大崎市多い (2011東日本大震災、2019関東・東北豪雨)
- ・福岡県久留米市 (5度の豪雨を経験) 等、西日本にも少なくなかった。

# 大会総括・抜粋

- さて、ぼうさこくたい2025は、昨日2025年9月6日土曜日から開催され、あっという間に今日のこの時間を迎えました。本日9月7日日曜日にも、お天気にも恵まれました。セッション、ワークショップ、ブース展示、パネル展示、屋外テント展示、屋外車両展示、オリジナル企画などさまざまな形態の企画があり、全部で約470の出展がありました。その中で、来場者、出展者同士、さまざまな「語り合い」が行われました。
- 
- イベントを通して、新たな活動・技術を知ってワクワクされた方、ひさしぶりの仲間と再会した方、新しい知り合いができた方をお見受けしました。一方で、イベントに参加することで、災害のつらい経験を思い出された方、いまでも災害のつらい記憶と戦っておられる方、そして、現在も災害と闘っておられる方、そのような皆様も、いらっしやったことを忘れてはなりません。多くの語り合いがあり、会場でもお互いの経験を尊重し、支え合うことができました。

## I. 災害を知る

- ・過去の経験・教訓を共有し、明日の災害を想定する
- ・様々な災害、また、・複合災害等を想定する

## II. 災害に備える

- ・災害につよいまちづくりを進める
- ・いざというときのために「事前復興（災害後のまちの再生）」を考える

## III. 災害に対応する

- ・1人でも多くのいのちを救い、少しでも安心できる避難生活をおくる
- ・全ての被災者の生活再建を図る

## IV. 災害から再生する

- ・人が集まる魅力的な“都市” “まちば” “中山間地域”を再生する
- ・被災者の意見を反映する

### これらを実現するために・・・

1. **多様な主体**：自助,互助(地縁),共助,公助が連携・協働、持てる力を発揮する
2. **学びと継承**：生涯にわたって学び、とるべき行動に習熟し、次代に伝承する
3. **技術を結集**：
  - ・DX技術を活用し、情報の統合・共有の仕組みを確立する
  - ・アナログとデジタルの融合を目指す
  - ・産官学民のネットワークを実現・活用する

# 今後に向けて

## 情報共有・連携の場

- 防災というと、地域防災会議等、お堅い場が多いことが常。でも、防災にとりくむ公助・共助の主体の皆様が、ざくばらんに情報を共有し、共働のきっかけづくりになった。



このままでおわってしまう???